

ジェンダーギャップって何だろう？ まちが消えるかもしれない大問題！

ジェンダーとは、男女の体のつくりの違いだけでなく「男らしさ」「女らしさ」といった、多くの人が無意識に持っているイメージのことです。

ジェンダーギャップとは、社会的、文化的に作り上げられた男女格差のこと、このジェンダーギャップを解消することは、誰もが生きやすいまちをつくり、そして社会をつくることにつながっていくと言えます。

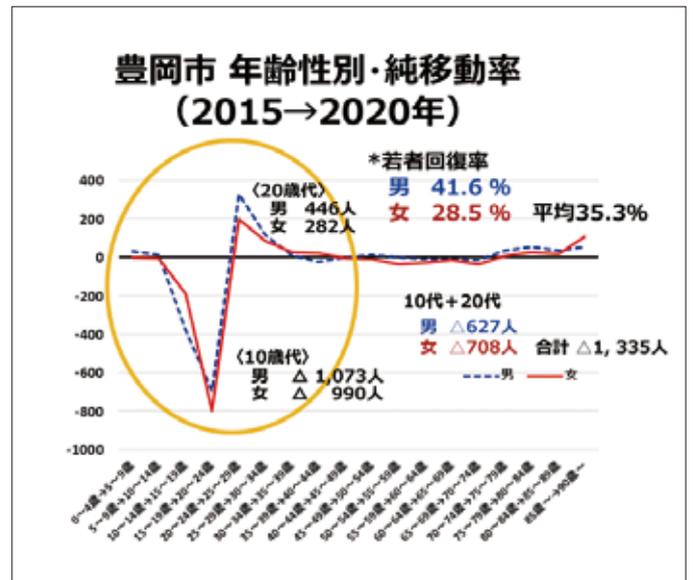
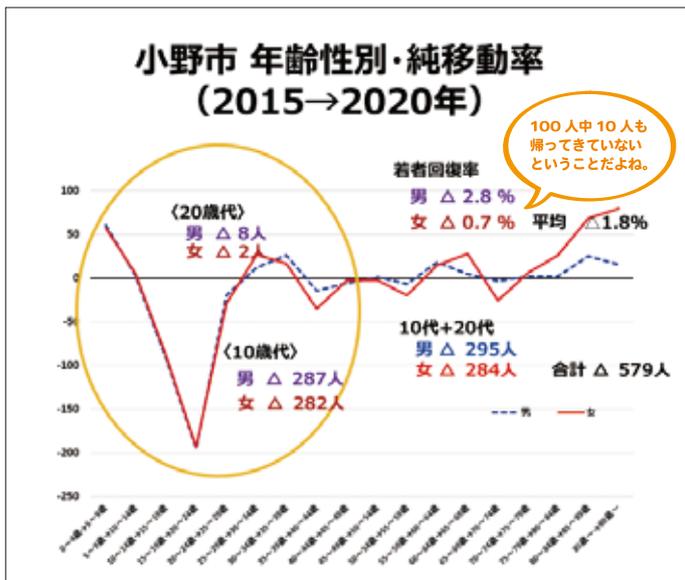


「地方における人口減少は、若者の流出、*回復率の低さが最大の原因であり、住むためのまちとして若者に選ばれていないということ。」

6月に小野市男女共同参画センターで行われた講演会『ジェンダーギャップって何だろう？まちが消えるかもしれない大問題』での講師、元豊岡市長 中貝宗治さんの言葉です。

豊岡では、若者、特に女性の回復率が低く、そのことが夫婦の絶対数を減少させ、人口減少が進む要因のひとつになっています。人口減少は、地域経済を縮小させ、人手不足は企業にとってマイナスとなります。若者、特に女性の回復率の低さの原因として、経済的、文化的魅力に乏しいことに加え、根強いジェンダーギャップがあり、「女、子どもは黙っている、という文化のところに女性は帰って来ないのです。」と中貝さんは話されました。

若者回復率の低さは豊岡に限らず、小野市でも同様に表れています。



※若者回復率とは
進学などで市外に転出した10代の転出数に対して、市内に転入してきた20代の転入者数から転出者数を差し引いた数で、若者がどれだけ戻ってきたかを示す豊岡市独自の指標。

中貝さんは市長であった当時、男性であろうと女性であろうと、生きがいのあるまちづくりのため、おもに4つの施策を行いました。

1. 環境都市「豊岡エコバレー」を創造

「豊岡エコバレー」とは、環境をよくすることで経済が活性化し、そのことによって環境をよくする行動がさらに広がる「環境と経済の共鳴」を実現するための取組です。一度は絶滅したコウノトリを野生復帰させることに成功しました。

2. 受け継いできた大切なものを守り、育て、引き継ぐ

城崎温泉を、日本人のみならず外国の方にも楽しんでもらえるよう、まち全体でおもてなしをするしくみを作りました。

3. 「深さをもった演劇のまち」の創造

豊岡演劇祭をはじめ、芸術文化観光専門職大学を設立しました。市内の小・中学校で、演劇を取り入れたコミュニケーション教育を展開しています。

4. ジェンダーギャップの解消

豊岡では、女性は圧倒的に非正規雇用が多く、たとえ正規雇用であっても出世しておらず、男女の賃金格差が大きい現状がありました。女性の人材育成、幼稚園・保育園・認定こども園の教諭・保育士に対してジェンダー平等研修を行うなどの取組を行いました。

『自分の子ども、孫である女の子が夢を持ったときに、性別を理由に断念させられる、そんな社会に暮らしてほしいですか？』

誰でも想像しやすい中貝さんのこの問いかけに、ジェンダー平等の必要性が集約されている、と感じました。

「将来、小野市に住みたいと思いますか？」身近な人に聞いてみました。

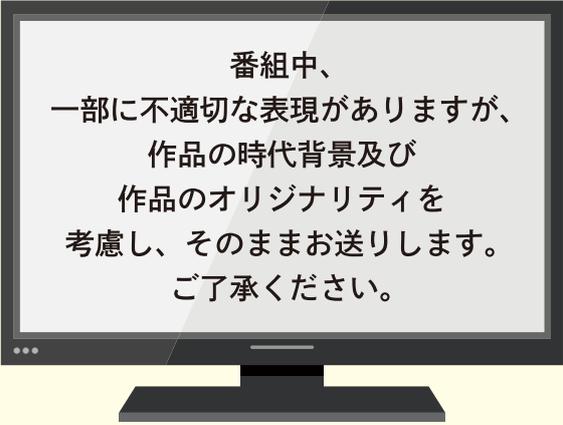
- ・住みたい。田舎なところが良い、他に住みたいと思う場所がないから。(10代女性)
- ・住みたくない。交通が不便で娯楽施設が少ないから。(20代男性)
- ・住みたい。土地を守る必要があるから。(40代女性)
- ・住みたくない。自然が多く子育てしやすい環境は良いけど、高齢になるにつれて交通の利便性が欲しいから。(40代女性)

この価値観に
ついてどう思う？

この発言は
どう感じる？

身近な人たちに ジェンダー意識について聞いてみた！

昭和や平成の頃のドラマが放映される時、
次のようなテロップを目にすることはありますか？



番組中、
一部に不適切な表現がありますが、
作品の時代背景及び
作品のオリジナリティを
考慮し、そのままお送りします。
ご了承ください。

特に、当時の世相を反映したドラマ等を
ジェンダーを意識して観ると、現代とは異
なった価値観があるのに気づきます。

今回、当時のドラマのワンシーンや、同
時期に身近であった場面の価値観について、
色々な年代の方に感じ方を聞いてみました。

発言

1

男子は学歴が大事だから大学に行ってもいいけど、
女子は嫁に行くから進学しなくていいよ。

女子が嫁に行くとは限らない。女性の働く率が上がっているし、
夫が家事をする場合もあるから、おかしいと思う。(10代男性)

全く賛成できませんし、この価値観は早く滅ばればいいのにと
思っています。(30代女性)

女子でも大学に進学したいと希望するなら行かせてあげるべき
だと思います。(40代女性)

これからの時代、結婚しない子も増えるだろうし嫁に行ったと
しても共働きで仕事を続ける女子も増えていくと思う。
(40代女性)

女性が嫁に行くとも限らないし、才能ややりたいことがあるなら
それを伸ばす方向へ背中を推してあげるのが親であると考えてる。
(50代女性)

私は大学に
行きたいのに…



自分は人に言われたこともないし、自分の中にこのような思いがないから人に言うという発想が無い。(50代女性)

自分が言われて害があるなら抵抗するけど、関係なければ「古い価値観を更新できない人が何か言ってるな、残念。」と思うだけ。(50代女性)

何でも決めつけてくる人は、その価値観で育ってきているので、その人の考えを否定するのも違うと思う。その人の考え方として理解してやるしかない。(50代男性)

女の子が結婚するかわからないし、今は男女で給金変わらないから進学の可能性は男女関係ない。(50代男性)

各々の能力を伸ばすためには、大学も必要。(80代男性)

学歴がそんなに大事なん?



発言 2

**女性は
跡取りになる男の子を産まないといけないよ。**

男の子が生まれなかったとしても、そんな事言われてもどうしようもくない?(10代男性)

出産というプライベートかつ女性の心身に大きく関わる事柄について、例え家族であっても口出しすべきではない。
(30代女性)

そんなプレッシャーになるようなこと言ったらダメです。
(40代女性)

そもそも跡継ぎが必要な時代でもなくなっているけど、私のどこかで「男3兄弟」って聞くと「跡継ぎに困らんでいいな」って無意識に考えてしまう自分がある。(40代女性)

跡取りとまでは言われてないが、夫の祖母の姉に赤ちゃんを産んで、と拜まれたことがある。私は子どもができなかったので、義母に謝ったことがある。(50代女性)

母は、義母から実際に言われたと聞いた。(50代女性)

そう言われても…



発言
3

男の子だから、
大学を卒業したら地元で就職しに戻ってくるんだよ。

そもそも言っている人の意図が分からない。言っている人が誰であろうと、人に決められることではないと思う。(10代男性)

家父長制の考えが透けて見える発言だと思います。それは、女の子だけでなく男の子の幸せをも妨げます。(30代女性)

子どもの人生、子どもが決めることです。大学で街に出ると帰ってこない子の方が多いと思います。生活するにも便利だから、帰ってこないのも分かります。(40代女性)

地元で働く必要はないけど、将来、墓は守ってほしい。(50代男性)

仕事で新卒採用を担当しているが、親からこう言われているから地元で就職先を探しているという男子学生が時々いる。(50代女性)

どの地、どの国でも元気で働けばと思う。でも、長男が地元で働き心強いと思っている。(80代男性)



発言
4

妻が夫に「仕事に遅れそうだから洗濯物干しておいてね」と頼んだ。
夫は「分かった」と答え、洗濯物を干していた。
その様子を見た義母が、「なんであなたが洗濯を干してるの、
なり悪いからやめとき。」と言った。

夫婦(家族)は助け合って生活するものだと思うから、もしその人がそれを恥ずかしいと思うとしても世間体を気にするのは良くないと思う。(10代男性)

その義母は義父に家事を一切させなかったのでしょうか、息子夫婦には関係の無いことです。男が洗濯物を干すことをみっともないとする価値観は、息子夫婦のワークライフバランスや生活の質を壊す可能性が大いにあり、迷惑だということに気付くべき。(30代女性)



典型的な昔の人の考えですよ！共働きしてるなら尚更協力し合って生活しないと！って思います。息子のママ友たちと集まったら、これからの時代、男の子も家事できるようになっとかなあかんよな！って話してますよ。(40代女性)

結婚して二十年程した辺りから「何かおかしい」と思い始め、「今までしっかり家事してきたから交代」という感じで、今では夫の方が家事の量が多いかも。出来る人が出来る時にやれば良いと思う。(40代女性)

適材適所でやれる人がやったら良いと思う。家事の分担が出来るなんて他の家の人から見たら褒められ案件で羨ましがられること間違いなし。普段から手伝ってると緊急時にもすぐ対応出来るし、家庭が上手くいく平和であると考え。(50代女性)

義母は、「優しい旦那さんでよかったなー」となぜ言えないのだろう？と思った。
(50代女性)

義母は共働きした事ないのでは？共働きした事ある人ならそんな事言わないと思う。
(50代男性)

お互いやれる人がやれば良い。やって当たり前、世間体など気にする、しないも、その人それぞれの価値観。(50代男性)

女性も仕事に行っていて遅れそうなのに、義母が口をはさむのは間違い。2人の問題だ。(90代女性)

夫婦の問題に義母が口出しするのは間違っている。(90代女性)

まとめ

今回、私たちがアンケートを取った身近な方々には、年代や性別を問わず、ジェンダー平等の価値観が定着してきていることが分かりました。

子育てをしている方が多い30代~50代では、現代とは違う価値観に触れたことはあっても、自身はそれを子どもに引き継ぐことはしない傾向が強いと感じました。

そのため、この世代を親に持つ10代や20代にとっては、学校教育でもジェンダー平等が当たり前として育ってきたことから、アンケートの意図自体に戸惑う声も多く聞かれました。